

クリーニング科



クリーニング科では、「周りの方とよりよいコミュニケーションを取りながら働くこと」を働く力の大切な観点として捉えて学習を進めています。

実習室に訪ねてきたお客様には笑顔で「いらっしゃいませ」お帰りの際には「ありがとうございました」と自然に言えることが目標です。

また、アイロンがけ、プレス機仕上げ、ビルクリーニング(窓床清掃)、カークリーニングなどのクリーニングに関する仕事を中心に、喫茶サービスなど接客が身に付くような様々な取り組みを行っています。

クリーニングの受付から納品までのサイクルを意識し、自分の役割や協力することの大切さを知ること、主体的に活動する態度を育て、職業自立・社会自立できることを目指しています。

学科の目標

洗濯、乾燥、仕上げなどの学習を通して、勤労の体験を豊かにし、その意義を理解させると共に、職業自立など社会自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てる。

クリーニング科の取り組み

～学年をこえて協力して取り組む合同作業を特色としています～

【ホームクリーニング】

- ・アイロンによるワイシャツ、作業ズボンなどの仕上げ
- ・プレス機によるシーツ、カバーシーツなどの仕上げ
- ・じゅうたん洗い



【カークリーニング】～車内清掃、洗車、ワックスがけ
車内清掃に力を入れており、お客様にも
大変喜ばれています。



【ビルクリーニング】～窓の清掃、床の清掃
※近隣の小学校や高校にビルクリーニングの技術を
伝えることを通して交流を行っています。



【接客】

製品販売会や学校祭の際に喫茶をオープンし、接客
マナーを身に付ける取り組みを行っています。



【アビリンピック北海道大会～障害者技能競技大会】

障害者が技能を競い合う大会に出場しています。
喫茶サービス部門とビルクリーニング部門の二つの
部門にエントリーし、学科内選考で選ばれた生徒が
出場しています。

